

令和三年十一月三十日

八十一号

# 道神青

北海道胆振東部地震発災三年慰霊祭 (苫小牧市)



# 令和三年度 北海道神道青年協議会 定例総会



新三役と事務局



北方新会長



芦原前会長

去る令和三年四月七日、北海道神道青年協議会定例総会が北海道神社庁研修室に於いて執り行われました。本年は新型コロナウイルス感染症の流行が収まらず、札幌市との不要不急の往来自粛が呼びかけられていたため、現地参加が叶わない会員はウェブ会議アプリを利用するハイブリット形式での開催となりました。

総会のはじめに月館理事の先導のもと敬神生活の綱領を唱和し、芦原会長と芦原庁長より御挨拶を戴きました。続いて議事に入り議長には丸井義嗣会員が選出され、令和二年度各議案について説明の後、異議なく承認されました。次に役員改選を行い、北方新会長より新役員が一名ずつ読上げられ、出席者の拍手を以て承認されました。

役員改選後に令和三年度各議案について新役員から説明され、異議なく承認されました。

総会の納めに、北方新会長よりコロナ禍において尽力された芦原前会長をはじめ役員各位に敬意を表すと共に、その意志を引き継ぎ、新役員一同力を合わせて行く決意を表明されました。

昨年に引き続きコロナ禍での開催となった本総会はウェブ会議を交えた新たな試みでしたが、役員と各会員の協力のもと大きな問題もなく終えられました。

北海道神宮 鳥居俊宏



## 令和2年度決算書・令和3年度予算書

### 令和2年度 一般会計歳入歳出決算書

1. 歳入金額 3,410,669円  
 1. 歳出金額 2,693,989円  
 1. 差引残 716,680円

自 令和2年4月1日  
 至 令和3年3月31日

【収入の部】 (単位:円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1. 会費	725,000	755,000	-30,000	5千×145名
2. 協賛金	1,280,000	1,200,000	80,000	本年度協賛金
3. 助成金	230,000	230,000	0	神社庁20万・神青協3万
4. 雑収入	681,384	30,715	650,669	利息・祝儀他
5. 繰越金	494,285	494,285	0	前年度より
6. 繰入金	0	0	0	
合計	3,410,669	2,710,000	700,669	

【支出の部】 (単位:円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1. 神事費	30,000	30,000	0	玉串料(道護国神社・上川神社・静内神社)
2. 負担金	270,500	309,500	-39,000	会員贈出金 21万7千5百(1.5千×145名) ・地区贈出金5万・年賀互礼広告3千
3. 事務通信費	278,207	300,000	-21,793	事務郵便料・事務所費
4. 会議費	217,144	300,000	-82,856	
①会議諸費	67,144	150,000	-82,856	年間ZOOM使用料・役員会飲物代
②役員旅費	150,000	150,000	0	役員交通費補助 打切支出
5. 活動費	1,224,132	1,500,000	-275,868	
①事業費	737,656	700,000	37,656	研修会・新春研修会・復興祈願祭・ スポーツ大会日本書紀撰上 1300年記念事業 ほか
②広報費	246,476	300,000	-53,524	通信作成費・送料 ホームページ維持費
③神青協関係費	240,000	500,000	-260,000	神青協出向補助 打切支出
6. 慶弔費	23,200	50,000	-26,800	祝儀・弔電・葬儀玉串料
7. 会長交際費	50,000	70,000	-20,000	会長交際費補助 打切支出
8. 雑費	806	40,500	-39,694	
9. 積立金	600,000	50,000	550,000	本年度積立金
10. 予備費	0	60,000	-60,000	
合計	2,693,989	2,710,000	-16,011	

3,410,669円 - 2,693,989円 = 716,680円  
 差引残額 716,680円 を次年度一般会計繰越金とする

### 令和3年度 歳入歳出予算書 (案)

#### 1、一般会計

【収入の部】 (単位:円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1. 会費	725,000	755,000	-30,000	
2. 協賛金	1,200,000	1,200,000	0	本年度協賛金
3. 助成金	230,000	230,000	0	神社庁20万・神青協3万
4. 雑収入	18,320	30,715	-12,395	利息・祝儀他
5. 繰越金	716,680	494,285	222,395	前年度より
6. 繰入金	0	0	0	
合計	2,890,000	2,710,000	180,000	

【支出の部】 (単位:円)

科目	決算額	予算額	増減	備考
1. 神事費	40,000	30,000	10,000	玉串料(北海道神宮・道護国・宗谷 支部内神社・胆振支部内神社)
2. 負担金	300,500	309,500	-9,000	会員贈出金21万7千5百(1.5千×145名) 地区贈出金5万・年賀互礼広告3千・ 日本会議北海道本部3万
3. 事務通信費	300,000	300,000	0	事務郵便料・事務所費
4. 会議費	300,000	300,000	0	
①会議諸費	150,000	150,000	0	年間ZOOM使用料他
②役員旅費	150,000	150,000	0	役員交通費補助 打切支出
5. 活動費	1,650,000	1,500,000	150,000	
①事業費	850,000	700,000	150,000	研修会30万・スポーツ大会・ 新春研修会・パネル展ほか
②広報費	300,000	300,000	0	通信作成費・通信送料・ ホームページ維持費
③神青協関係費	500,000	500,000	0	神青協出向補助50万 打切支出
6. 慶弔費	50,000	50,000	0	祝儀・弔電・葬儀玉串料
7. 会長交際費	70,000	70,000	0	会長交際費補助 打切支出
8. 雑費	49,500	40,500	9,000	
9. 積立金	70,000	50,000	20,000	本年度積立金
10. 予備費	60,000	60,000	0	
合計	2,890,000	2,710,000	180,000	

#### 2、積立金

科目	期首残高	取崩予算額	期末予想残高	備考
積立金	5,567,549	0	5,567,549	
合計	5,567,549	0	5,567,549	

# 新役員紹介

- ① 生年月日 年齢
- ② 奉務神社 神社役員
- ③ 青年会単体会名
- ④ 最近ハマっている事
- ⑤ 今一番欲しいもの



会長  
北 宏  
きたかた ひろかず

- ① 昭和59年11月9日生 37歳
- ② 札幌諏訪神社 禰宜
- ③ 文月会
- ④ マリトツオを食べること
- ⑤ 強いメンタル



副会長  
後藤 尚範  
ごとう なおのり

- ① 昭和58年11月9日生 38歳
- ② 当別神社 宮司
- ③ 文月会
- ④ 家庭菜園
- ⑤ パソコン



副会長  
月館 良治  
つきだて よしはる

- ① 昭和59年1月26日生 37歳
- ② 樽前山神社 権禰宜
- ③ 胆振青年神職会
- ④ アリの観察
- ⑤ ハンモック



副会長  
荒木 直弥  
あらかし なおや

- ① 昭和63年12月27日生 32歳
- ② 尻岸内八幡神社 禰宜
- ③ 渡島神道青年会
- ④ 苔栽培
- ⑤ キャンプ道具



事務局長  
西山 智史  
にしやま ともふみ

- ① 昭和59年12月13日生 36歳
- ② 北海道神宮 権禰宜
- ③ 文月会
- ④ 美味しんぼ一気読み
- ⑤ エアコン



事務局長  
内田 京  
うちだ きょう

- ① 平成元年3月22日生 32歳
- ② 江別神社 権禰宜
- ③ 文月会
- ④ つみたてNISA
- ⑤ パソコン



理事(札幌)  
鳥居 俊宏  
とりい たかひろ

- ① 昭和62年11月16日生 34歳
- ② 北海道神宮 権禰宜
- ③ 文月会
- ④ 特になし
- ⑤ 痩せていた時の身体



理事(渡島)  
板谷 至康  
いたや のりやす

- ① 昭和61年7月31日生 35歳
- ② 函館八幡宮 権禰宜
- ③ 渡島神道青年会
- ④ 完全無欠コーヒー
- ⑤ ハイスベックPC



理事(檜山)  
松崎 胤彦  
まつざき よしひこ

- ① 昭和51年12月9日生 44歳
- ② 乙部八幡神社 宮司
- ③ 檜山神道青年会
- ④ レーザー彫刻
- ⑤ ニューモと蘭夢



理事(後志)  
尾形 悠樹  
おがた ゆうき

- ① 昭和59年5月30日生 37歳
- ② 喜茂別神社 禰宜
- ③ 後志青年神職会
- ④ 息子と公園巡り
- ⑤ USJのチケット



理事(空知)  
山形 智信  
やまがた とものぶ

- ① 昭和57年4月10日生 39歳
- ② 栗山天満宮 禰宜
- ③ 空知支部青年神職会
- ④ ZOOM飲み会
- ⑤ 新ストープ



理事(上川)  
松本 直哉  
まつもと なおや

- ① 昭和62年4月13日生 34歳
- ② 上川神社 権禰宜
- ③ 上川神道青年会
- ④ 庭で晩酌
- ⑤ エアコン



理事(留萌)  
瀧川 慎吾  
たきかわ しんご

- ① 昭和59年5月11日生 37歳
- ② 古前神社 宮司
- ③ 留萌青年神職会
- ④ あんかけ焼きそば
- ⑤ お酒に負けない強い肝臓



理事(宗谷)  
山本 紘輝  
やまもと ひろあき

- ① 平成4年3月10日生 29歳
- ② 北門神社 権禰宜
- ③ 宗谷青年神職会
- ④ 何かしらのデザインを考える授与品配布物など
- ⑤ ハイスベックPC・休み



理事(網走)  
瀧川 寛毅  
たきかわ ひろき

- ① 昭和61年5月26日生 35歳
- ② 北見神社 権禰宜
- ③ 網走神道青年会
- ④ デジタル作画
- ⑤ 語彙力



理事(紋別)  
中島 徹  
なかじま とおる

- ① 昭和51年10月16日生 45歳
- ② 雄武神社 権禰宜
- ③ 紋別神道青年会
- ④ 夏の昆布干し・サウナで整うように努力してる
- ⑤ 四輪バギー・妻の愛



理事(胆振)  
黒野 紘史  
くろの ひろあき

- ① 昭和61年11月23日生 35歳
- ② 伊達神社 権禰宜
- ③ 胆振青年神職会
- ④ DIY
- ⑤ 観葉植物



理事(白老)  
酒井 俊  
さかい しゅん

- ① 昭和54年6月25日生 42歳
- ② 浦河神社 宮司
- ③ 日高青年神職会
- ④ 新割り
- ⑤ 新しいペレットストープ



理事(十勝)  
加藤 祐亮  
かとう ゆうりょう

- ① 昭和58年10月25日生 38歳
- ② 十勝神社 禰宜
- ③ 十勝支部青年神職会
- ④ 掃除
- ⑤ コーヒーメーカー



理事(釧路)  
関 祥一

- ①昭和58年8月20日生 38歳
- ②弟子屈神社 宮司
- ③釧路管内神社青年会
- ④ねこのエサやり
- ⑤特になし



理事(根室)  
相澤 裕佳子

- ①昭和54年7月28日生 42歳
- ②別海神社 宮司
- ③根室神道青年会
- ④ゴルフ
- ⑤すぐに痩せるなにか



理事  
井上 真輔

- ①平成元年3月22日生 32歳
- ②美幌神社 禰宜
- ③網走神道青年会
- ④DIY動画をみて技術勉強
- ⑤筋肉



理事  
森 泰道

- ①平成3年7月20日生 30歳
- ②篠路神社 禰宜
- ③文月会
- ④特になし
- ⑤外出許可



理事  
本間 将広

- ①昭和62年6月22日生 34歳
- ②北海道神宮 権禰宜
- ③文月会
- ④VHSのデータ化
- ⑤シックスパック



監事  
勝沼 達朗

- ①昭和55年12月29日生 40歳
- ②廣島神社 禰宜
- ③文月会
- ④カー用品収集
- ⑤PS5



監事  
菊池 友亨

- ①昭和56年5月8日生 40歳
- ②厳島神社 権禰宜
- ③釧路管内神社青年会
- ④カメラ
- ⑤分身



参与  
芦原 大記

- ①昭和56年1月24日生 40歳
- ②旭川神社 禰宜
- ③上川神道青年会
- ④DIY(小屋の内装)
- ⑤左耳の聴力(マニールにて左耳が難聴)

### 新入会員紹介

- ①生年月日 年齢
- ②奉務神社 神社役職
- ③青年会単体会名
- ④最近ハマっている事
- ⑤今一番欲しいもの



宮崎 光志

- ①平成10年5月29日生 23歳
- ②琴似神社 権禰宜
- ③文月会
- ④野球・野球観戦・映画鑑賞
- ⑤車



松谷 亮

- ①平成4年11月22日生 29歳
- ②烈々布神社 禰宜
- ③文月会
- ④ガンブラ製作
- ⑤RE/100ヤクト・ドーガ



田湯 桃花

- ①平成7年8月29日生 26歳
- ②新琴似神社 権禰宜
- ③文月会
- ④断捨離
- ⑤車



遠藤 将弘

- ①平成2年1月5日生 31歳
- ②白石神社 禰宜
- ③文月会
- ④ゴルフを勉強中です!
- ⑤早く国内外の旅行に行きたいです!



山田 夏生

- ①平成9年7月16日生 24歳
- ②西野神社 権禰宜
- ③文月会
- ④道の駅スタンプラリー
- ⑤MAC BOOK PRO



山口 泰明

- ①昭和54年6月9日生 42歳
- ②千歳神社 権禰宜
- ③文月会
- ④庭でBBQ
- ⑤キャンプ道具(特にテント)



三橋 充佳

- ①昭和56年1月2日生 40歳
- ②豊平神社 権禰宜
- ③文月会
- ④水泳
- ⑤車



浅井 大樹

- ①平成10年3月10日生 23歳
- ②北海道護国神社 出仕
- ③上川神道青年会
- ④週2回はま寿司
- ⑤車と運転手



小野 貴大

- ①平成7年10月23日生 26歳
- ②意富比神社 禰宜
- ③渡島神道青年会
- ④ゴルフ
- ⑤ゴルフクラブ

### 神道青年全国協議会出向

- |          |       |
|----------|-------|
| 監事       | 芦原 大記 |
| 地区理事・代議員 | 北方 宏和 |
| 指名理事     | 勝沼 達朗 |
| 代議員      | 荒木 直弥 |
| 代議員      | 西山 智史 |
| 神宮啓発委員   | 森 泰道  |
| 事業委員     | 井上 真輔 |
| 時局問題対策員  | 後藤 尚範 |

## 北海道胆振東部地震発災三年慰霊祭

去る令和三年八月十九日午後一時三十分より、樽前山神社境内に於いて月館副会長を齋主に、理事・胆振青年神職会会員の計七名が祭員・伶人として、雲ひとつない日本晴れの下、北海道胆振東部地震発災三年慰霊祭を斎行致しました。本来であれば全道各地より御参列戴く予定でしたが、昨今の世情により多くの方々にご案内をされる事が叶わず、役員・理事胆振青年神職会会員のみの参列となりました。御参列の方々には副饌として各地区の銘菓等をお持ち戴き、御神前にお供えを致しました。

平成三十年九月六日午前三時七分に発生した北海道胆振東部地震により、四十三名の尊い命が犠牲となり、この地震から丸三年が経過致しました。その時の事を思い返すと私は当時、自宅で寝ており物凄い揺れにより目を覚ました。暫くして揺れが収まり、部屋の明かりを点けようとしたが停電により点かず、携帯電話で地震情報を確認し、実家に安否確認をしていると、外から「津波が来る」との声がし、急いで車に乗り込み高台にある樽前山神社に避難をしました。駐車場にはもう何十台もの車が避難しておりました。幸いにもカーラジオから津波の心配はないとの情報が聞こえ、安堵し帰宅をしましたが、その日神社に出社し、胆振の神社の被害を聞いて愕然と致しました。明るる日には被害に遭われた神社へ物資を車に積み、支援に行った事を思い出します。

祭儀の中では大祓詞を奏上致しました。奉仕者は齋主先導のもと声に出し、御参列の皆様は新型

コロナウイルス感染症を鑑み、心中にて奏上を致しました。私自身、前述の事もあり大祓詞を、この地震により被害に遭われた方、またその土地の安寧を、そして御霊のご冥福を思いながら奏上致しました。

時間が経過すると、その時の大変だった経験を忘れてしまう人が私も含め多いと思います。今一度この時の事を見つめ直し、受け止め、自分で出来る事を少しでも行っていくと共に、これからも犠牲になられた御霊に対し、慰霊の誠を捧げていきたいと思えます。

樽前山神社 五十嵐直貴

※お供えされた玉串料は復興義捐金としてお送りしました。



# インスタグラム神社フォトコンテスト 「神写」

# 「かみさま」パネル展



去る令和三年七月十三日、札幌駅前通地下歩行空間(子・カ・ホ)に於いて、日本書紀撰上千三百年記念事業として行ったインスタグラム神社フォトコンテスト「神写」、インスタグラムアートコンテスト「かみさま」の入選作品を展示したパネル展が開催されました。

本事業は当初三月に開催される予定でしたが新型コロナウイルス感染症の影響で延期された経緯があります。そのため今回パネル展を行うに当たり、北海道の感染状況を踏まえた上で場所と時期を慎重に判断し開催する運びとなりました。

パネル展ではフォトコンテスト、アートコン

テストの入選作品の他、日本書紀に関わる宝物等の写真、応募頂きました作品の中から北海道の神社を紹介するスライドショーなどを展示し、また時を同じくして開催中のインスタグラム神社フォトコンテスト「北海道の神社百景」の広告を展示、チラシの配布をするなど告知活動も行いました。

前日は北海道神宮参集殿に於いて、道神青協役員数名でパネルの制作作業や事前確認を行いました。

当日は札幌駅前通地下歩行空間に八時四十五分に集合し、制作されたパネルや備品を車から搬入する係と現地でお借りする借用品を移動する係と二手に分かれ作業を進め、その後参加者全員で設置を行い十時にパネル展が開催されました。また会場入り口にはアルコール消毒液を設置し、参加者は全員マスクを着用するなど感染症対策を最大限に講じた上で行われました。

開催期間中は千名を超える大勢の方が足を止めにになり、素晴らしい入選作品の数々をご覧頂きました。ご来場された方からは、「とても綺麗な神社ですね」「実際に参拝してみたいです」「可愛い神様のイラストですね、どのようにしたらこのように描けるのでしょうか」など神社や作品について多くのご質問を頂き、今まで神社に興味が無かった方や普段SNS等をご利用されない方へ向けても新しい神社の魅力を知って頂く良い機会になりました。

伊達神社 黒野紘史

# 道神青協

## インスタグラム

### 神社フォトコンテスト

### 「北海道の神社百景」

去る令和三年七月一日～八月三十一日まで二カ月間の期間でインスタグラムを利用した神社フォトコンテスト「北海道の神社百景」を開催しました。

本事業は昨年、日本書紀撰上千三百年を記念して行ったインスタコンテスト「フォト神写」、「アートかみさま」に続き道神青協で行うフォトコンテストとしては二回目の開催となり、新たな試みとして応募対象を北海道の神社に限定し、写真を通じて氏子崇敬者と神社が関わる機会を設けると共に道内神社や祭りの周知、ユーザーの方へ改めて地域コミュニティの中心である神社に目を向けようというのを目的に企画しました。

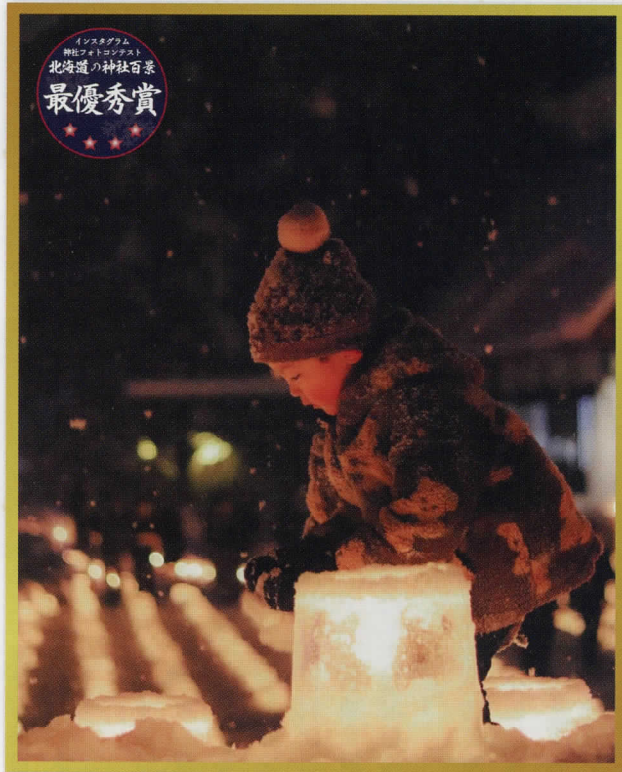
前回に続きインスタグラムでフォトコンテストを行った利点として、スマホ一台あれば誰でも参加可能で初めての方でも応募がしやすいという点、利用者に若年層が多くユーザーからユーザーへの波及効果が高いという点が挙げられ、当コンテストに於いては道内神社限定という限られた対象であるにも関わらず神社関係者を始めフォロワーの方からの情報拡散や広告によって告知段階から多くの神社好きな方や御朱印巡りが好きな方などに

興味を持っていただくきっかけとなりました。開催当初は期間が夏時期ということもあり夏詣を行っているお宮の写真や色とりどりの花手水の写真、御朱印の写真など時世を反映した写真が多く見られました。過去に撮影した写真の応募も可能にしていたことで春の桜や秋の紅葉、一面が雪景色な冬の神社の風景など北海道ならではの写真も徐々に増えていき四季折々コンテストの色を鮮やかにして下さいました。七五三や初宮参りなどの人生儀礼、子供を写した写真などはプロが撮影したようなレベルが高いものが多くユーザーからユーザーへコンテストへの応募の波及効果に繋がりがフォロワー増加の要因ともなりました。

コンテストは期間中約六千五百件という多くの応募をいただき投稿される北海道の神社に関する写真は非常に多くの方の目に留まったことと思います。現在三千六百人を超える数の方にフォローしていただいております。コンテストを通じて新たに神社に興味をもっていた方や写真を見てお参りしたいと思っていた方々の方々が今後積極的に道内神社に足を運ぶきっかけになれば幸いです。

本事業を開催するにあたり各社宮司様、会員の皆様にはポスターやHP、SNS等を通じて周知活動に御協力戴きましたことを厚く御礼申し上げます。引き続き道内神社に関わる様々な写真を紹介すると共に、コンテストで得た経験を活かしてより多くの方に北海道の神社の魅力を伝えられるような企画を展開していく次第です。

尻岸内八幡神社 荒木直弥



Instagram  
神社フォトコンテスト  
北海道の神社百景  
最優秀賞

◎ 作品者：titian\_k

撮影場所：定山溪神社 札幌市

寒さも忘れて自分でもアイスクャンドルを作ろうとしたのでしょうか。夢中になつてる姿が伝わるとても素敵な一枚です。北海道の神社だからこそ見れる美しい光景です。夏に訪れてもこの光景を思い出してくれることでしょう。



# 道神青協

インスタグラム 

神社フォトコンテスト



優秀賞



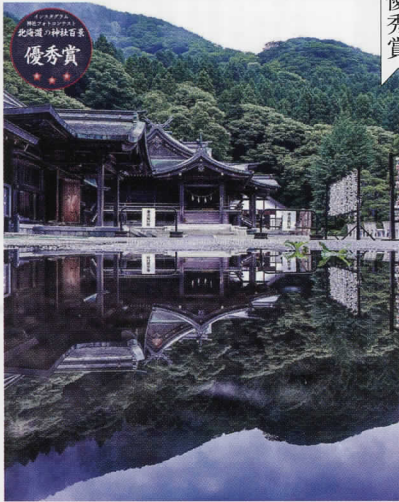
◎作品者：hayaroyuka  
 撮影場所：佐女川神社/木古内町  
 今にも飛んできそうな水しぶきと、その水を含んで受ける行者さんの勇ましい姿が印象的なお写真です。寒さも吹き飛ばして神事に望む彼らの強い気持ち伝わるとても躍動感のある一枚です。

優秀賞




◎作品者：fjbp626  
 撮影場所：栗澤神社/岩見沢市  
 小さな掌で祈る美しい姿を見、清々しい気持ちになります。「目に見えぬ神にむかひて恥ざるは人の心のまことなりけり」明治天皇御製

優秀賞



◎作品者：fuji.skyphoto  
 撮影場所：函館八幡宮/函館市  
 水面を通してうつった神社がとても印象的でした。写真を上下逆にすると、神社の神秘性がより感じられる一枚だと思います。



道神青協インスタグラム  
 神社フォトコンテスト 



◎作品者：nito\_photographer  
 撮影場所：札幌諏訪神社/札幌市  
 コロナ禍において多くの神社で花手水が実施され、それぞれの特色が見受けられます。花手水と本殿が同時に収められており、花手水の華やかさが神社を彩っている素敵一枚を選びました。



◎作品者：mac\_jp  
 撮影場所：恵比寿神社/古平町  
 町内を回った御神体（御神輿）を火渡りにより清める神事。炎を纏うように槍をはらう気迫ある猿田彦の姿は、先導として雄々しく道を切り開いているように見えます。



◎作品者：sue\_project  
撮影場所：樽前山神社/苫小牧市

普段の何気ない景色も季節や天候によって表情が変わるのが日本の四季の良い所ですね。雪解けの雨の日の季節の変わり目にどこか哀愁漂うとても雰囲気のあるお写真です。



◎作品者：k.m.s.3852  
撮影場所：太田神社/せたな町

太田神社は大変険しい山道を登った所に本殿が鎮座されております。山頂の本殿から拝殿を写したこちらのお写真は青と緑のコントラストが美しく自然を感じられるこの場所でしか撮影できない素敵な1枚です。



◎作品者：kzz\_travel  
撮影場所：岩見沢神社/岩見沢市

しんしんと降り積もる雪、北海道の冬の厳しさ、その中に凛と佇む鳥居が良いと思います。

◎作品者：tsuzuki.0325  
撮影場所：美瑛神社/美瑛町  
燃え盛る炎と担ぎ手の方々の熱気が目に留まります。松明の炎が神代の昔を思い起こさせる、本来の祭りの迫力が伝わる一枚です。



◎作品者：yamadamino  
撮影場所：姥神大神宮/江差町

約370年余りの歴史を誇る、北海道最古の祭りといわれる姥神大神宮渡御祭。こちらのお写真に写る豪華な装飾を施した山車（やま）は、13基出る山車のなかで唯一、船の形を模したもので、船頭を華やかな衣装に身を包んだ少年が務められるそうです。3日間かけて豊漁、豊漁、無病息災を祈り町中を練り歩く姿は圧巻で、一度は現地で祭りの迫力を体感したくなる素敵なお写真です。

◎作品者：jms4151719  
撮影場所：虹田神社/洞爺湖町  
ちよこん三欄干にのせられた小さな手、目線の先には何が見えてくるのかな、次にお参りに来る時はきつと目線の高さが違ってくるでしょう。とても可愛らしいほっこりする神社でのワンシーンです。



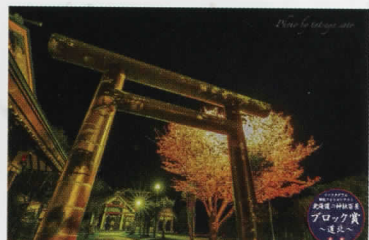
◎作品者：saonaru  
撮影場所：来運神社/斜里町

歩みを進める子どもが行く先には、まるでトトロの森のような深緑の景色が広がっています。思わず足を運びたくお写真です。



◎作品者：taniko1212  
撮影場所：金比羅神社/初山別村

大海原に佇む鳥居から差し込む夕日が幻想的な一枚。人生で一度は実際に観てみたい心を奪われる絶景の素晴らしいお写真です。



◎作品者：sato3739  
撮影場所：北門神社/稚内市

夜の神聖な境内に照らし出される桜と鳥居の姿に思わず息をのむほどの美しさを感じます。神社の荘厳な雰囲気が出る素敵なお写真です。



◎作品者：3340sho  
撮影場所：帯廣神社/帯広市

「#北海道の神社百景」では現在も花手水の写真を多数投稿頂いております。中でもライトアップされた帯廣神社さんの花手水のごお写真は、何度でも神社へ行きたくなる素敵一枚です。見ているだけで癒されますね！

◎作品者：bambi.0122  
撮影場所：金刀比羅神社 根室市  
お揃いの浴衣を着て嬉しそうに微笑んでいるこちらまで微笑んでしまう一枚ですね。



◎作品者：saonaru  
撮影場所：来運神社/斜里町

七夕の飾り付けをした社殿前に、天の川を模したようなイルミネーションがとても綺麗に写り出され、織姫と彦星が並んで神社にお詣りに来たような素敵な夏の夜の参詣写真だと感じ、選定させていただきました。おめでとうございます。



# 道神青協インスタグラム 神社フォトコンテスト



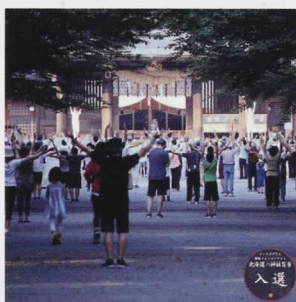
◎作品者：kadok429  
撮影場所：白糠神社・白糠町  
白糠殿島神社例大祭で行われる海中神輿を  
写した迫力満点の素晴らしい一枚です。掛  
け声とともに神輿と海に入る海中神輿は  
必見です。



◎作品者：nob.okahisa  
撮影場所：津別神社/津別町  
じっと流れ星を待っていたのでしょうか。流れ星と北斗七星  
をとらえた思わず息を呑むほどの素晴らしいお写真です。圧  
巻です！



◎作品者：hahabhy  
撮影場所：旭川神社・札幌市  
「男の子かな、女の子かな。」「ママ、元気な赤ちゃん  
を産んでね。」そんな声が聞こえてくるような、家族の  
想いと願いが感じられる心温まるお写真です。



◎作品者：kilig\_shio  
撮影場所：北海道神宮/札幌市  
毎朝のラジオ体操の一幕。身も心も健やかに  
希望の朝を迎えられるのでしょうか。地域の  
人々が集まり心の拠り所となる神社の理想的  
な姿を感じられます。



◎作品者：tunaguyumeko  
撮影場所：比布神社/比布町  
初詣にあわせ合格祈願をされたご家族のお写真。外は  
とても寒い中、満点笑顔あふれるそのお姿に心が暖まり  
ます。見ているだけで元気を頂けるそんな一枚で  
す。

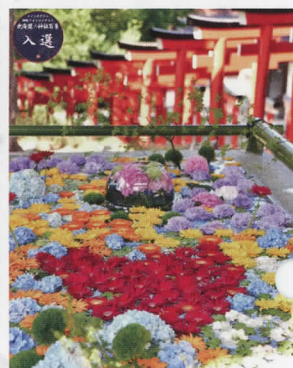


◎作品者：megu\_ickw  
撮影場所：江部乙神社/滝川市  
北海道滝川市に御鎮座される江部乙神社の日犬さん。笑っ  
た顔が特徴的で、この愛くるしいお姿で日々参拝者の心を  
癒してくれます。江部乙神社さんでは日犬さんのお守りも  
あるそうですよ。



◎作品者：y\_\_\_822  
撮影場所：新琴似神社/札幌市  
七夕の短冊たちと一生懸命に鈴巻を鳴らそうとしてい  
るお姿が愛おしいです。願い事叶うと良いですね。

◎作品者：manuoa77  
撮影場所：住吉神社/小樽市  
朱の鳥居に色鮮やかな花が目を引きまします。赤い花で作  
られたハートの可憐さに、心が洗われ安らかな気持ちに  
させてくれる花手水です。



道神青協インスタグラムアカウント運営中!!  
皆様フォローをお願い申し上げます。



◎作品者：taku\_photo  
撮影場所：夷王山神社/上ノ国町  
まるで絵画のような風景です。パノラマ撮影  
で天の川の全体が映り、街の明かりとのコン  
トラストが美しさを引き立てています。



◎作品者：hokko.2021  
撮影場所：置戸神社/置戸町  
綺麗な紅葉が境内を包み込み、秋の神社を写  
した素晴らしいお写真です。置戸神社さんの  
境内にはエノリスやシマリスが可愛らしく走  
り回っているそうです♪



## 北海道神道青年協議会研修会

去る令和三年十月二十一日、二十二日の二日間に亘り、日本最北の地稚内市にて、「明日への礎く変遷と現在を知り、新たな道へ」を主題とし、北海道神道青年協議会研修会が開催されました。本年の研修会は例年とは異なり、新型コロナウイルスの感染対策を施され、検温・消毒・研修会十日前からの検温観察シートの提出、会場内の換気、使用したマイクの消毒などしたなかで開催し、全道各地から会員四十七名が参加しました。

開講式には、北海道神社庁長芦原高穂様、北海道神社庁監事佐々木貴教様、神道青年全国協議会会長小林慶直様、神道青年全国協議会監事芦原大記様ご臨席のもと行われました。まず一人目の講師である株式会社DO THE SAMURAI代表取締役吉田亮先生は、神社・お寺ファンが使う検索サイト「ホトカミ」(月間百二十万人が利用)を運営する方です。前半では「百年後に神社を残すために参拝者が神社に期待すること」参拝者が増える神社の共通点」と題し講演され、後半では「人が集まる情報発信のコツ」気軽に続けるインターネット活用法」と題し、ホトカミやその他のSNSを活用し、参拝者・御祈禱を増やす為の御自身のデータや事例をもとに話されました。その中で、神社へのアクセスや、駐車場の有無、授与所時間など詳しく記載したところ、わずか半年で参拝者が百倍に増えたことを事例として紹介して頂きました。

我々が一般の方にわかりやすく、参拝者の目線に立つて発信し、「十年後、二十年後そして百年後と神社が途絶える事無く共に栄えるよう考えていきたいと思います」と講演を賜りました。また、第二講は北門神社宮司山本泰照先生を迎えて「最北の地で得た神社振興く今、若手神職に伝えたいこと」と題し、お話されました。山本先生は喜茂別町でお生まれになり、平成三年喜茂別神社宮司を拝命され、先代宮司からの教え、御自身の助勤奉仕など様々な経験のお話をされました。平成二十二年に北門神社に転任されて、ここでは教化活動や地域に根差した神社運営や、雅楽に興味がある方に対しご指導した事など貴重なご講演を賜りました。両先生から学び取った事を活かしていこうと思えます。将来の神社運営を担う私たちがとって有意義な研修会となりました。

函館八幡宮 大野亮



開講式で挨拶をする北方会長



第1講師の吉田亮様



第2講師の山本泰照様



担当地区 宗谷青年神職会山本会長

## 網走神道青年会研修会

去る令和三年七月二十八日十八時より、網走神道青年会(瀧川寛毅会長)研修会がオンライン会議ツール「ZOOM」を使用して北海道神道青年協議会(以下道神青協)会員と先輩方を合わせた約四十名参加のもとに開催されました。この研修会は「万里一空」その経験が糧となる」と題し、会員減少や「コロナ禍の影響により貴重な経験の場が失われつつある現状を鑑み、道神青協の仲間と共に神道青年全国協議会(以下神青協)の現状や活動をより身近に感じながら、共に研鑽を積むことで斯界の興隆に寄与する人材へと成長すること、また小規模

の単位会でも研修会が行えるという模範をお示しすることを目的として、正会員三名、特別会員三名の網走神道青年会が北海道神社庁網走支部(中島浄晴支部長)の後援を戴き、道神青協会員を対象として企画されました。研修会は講演とパネルディスカッションの二部制となり、第一



部の講演には講師として宇倍神社宮司、神道青年全国協議会前会長の金田祐季先生をお迎えし、第二部のパネルディスカッションには金田先生に加え、旭川神社禰宜、北海道神道青年協議会参与の芦原大記様(札幌)諏訪神社禰宜、北海道神道青年協議会会長の北方宏和様がパネリストとして参加されました。

金田先生による第一部の講演では「神青協と全国単位会、青年神職の現状と今後」という題のもと、話し合うことが最高の事業であり、単なる情報共有や意見交換にとどまらず、理念を共有することが普遍的な価値の創造へ繋がり、会員減少や新型ウィルスの現状は変えられないが、同じ言葉と価値を共有するものが大同団結を果たせば未来は希望となるとお話しされました。

第二部のパネルディスカッションには私もモデレーターとして参加し、会の小規模化が進む中での会員同士のより強い結束の方法や、最近耳にする機会の多くなったSDGsと神社界の興隆とをどのように結びつけるか、専業兼業の別なく神職同士が交流して斯界を支えてゆくために必要な変化について等、事前に用意



された三つのテーマに沿って金田先生、芦原様、北方様による活発な意見が交わされました。御三方ともテーマごとに非常に奥深いお話をして下さり、目の覚める思いで大変興味深く拝聴させて頂きました。

この研修会の開催は我々にとって大きな挑戦でもあり、企画や準備も決して容易ではありませんでした。

だが、先輩方の御助力のお蔭もあり、無事に終えることができました。講師やパネリストを快く引き受けて戴いた金田先生、芦原様、北方様は勿論のこと、研修会に参加戴いた多くの仲間と後援を戴いた北海道神社庁網走支部には感謝しかありません。アンケート結果から今回の研修会が参加者全員に支持されたことや参加者が望む研修会の形式や内容が浮き彫りとなり、今後の活動への大きな活力となりました。これから先も会員と会員、会と会がさらに固い絆で大同団結できるよう、この経験を糧として微力ながら協力していきたいと存じます。



# 神道青年全国協議会 第七十二回定例総会・定例表彰

去る令和三年四月二十三日、神社本庁大講堂に於いて、神道青年全国協議会第七十二回定例総会が開催されました。本総会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、ウェブ会議システムのZOOMを利用したハイブリッド式で行うこととなり、神青協役員や代議員百三十名出席のもと進められました。

開会式にて、任期を終えられる金田会長からコロナ禍でこれまで通りの事業展開が難しい中での二年間の活動の想いと協力頂いた全国青年会員への感謝が述べられ総会が開会されました。続いて定例表彰式が行われ、道神青協では日本書紀撰上千三百年記念事業として行ったオンライン研修会、インスタグラムオトコテスト、アートコンテストが時宜に適切な教化事業であることが認められ優秀事業賞を受賞しました。

議事に入り、令和二年度会務報告・一般会計歳入歳出決算書・監査報告について説明がなされ異議なく承認されました。続いての議事は小林新会長体制に移



挨拶をする小林新会長

り令和三年度活動方針並びに事業計画案・一般会計歳入歳出予算書案について説明がなされ原案通り可決されました。

結びに令和三年度定例総会決議が行われ、コロナ禍で様々なことに変化が強いられる中、青年神職として変化に適応すべく事業に積極的に取り組むこと。祭りの精神で地域を繋ぎ、祭りの祈りで復興を果たす「日本祭興」を提唱すること。又、国旗布告から百五十年が経過した今、国旗国歌の意義を広い世代に啓発し、令和の御世の興隆に寄与すべく決意を新たに掲げられ定例総会は閉会致しました。

尻岸内八幡神社 荒木直弥

## 神道青年全国協議会 オンライン地区訪問

去る六月三日、神青協正副会長がオンラインにて全国十地区を巡り懇談するオンライン地区訪問（北海道地区）がウェブ会議システムのZOOM上で開催され、当会からは北方会長、芦原参与など役員十一名が出席しました。

令和三年度神青協定例総会は、ZOOMを用い



定例表彰の様子

たハイブリット式で行われましたが、総会後に開催される懇談会が新型コロナウイルスの影響を受け中止になりました。

今後の方針について話し合われ、親睦を深める貴重な場である懇談会をなんとか行うことができなかつた結果、神青協正副会長が全国十地区の会員とオンラインにて懇談する「オンライン地区訪問」を実施しました。

北海道地区は一地区一単位会ということもあり、多くの時間を割いて頂き、特に北方会長より北方領土問題に関する件やオリンピックに併せた国旗啓発事業についてご提案を致しました。実際にこの提案を受け、神青協役員会において協議され、国旗小旗を各地区五千本ずつ配布し、全国の神社へ配られました。

最近ではウェブ会議が主流となり、画面越しの会議は幾度となく行われ、その難しさも多く感じる一方で、このオンライン地区訪問を通じて普段神青協の正副会長に直接質問や提案をすることが出来、且つ実際に提案をしたことが実施され、とても意義深い事業であったと存じます。

コロナ禍だから…と後ろ向きになることなく、十分に検討を重ねた上で時代に即した事業展開を考えなければならぬと改めて感じた一時となりました。

美幌神社 井上真輔



# 令和三年度

## 神道青年全国協議会

### 夏期セミナー

去る令和三年八月二六日、全国より二二六名、当会より十五名の青年神職の参加の下、神道青年全国協議会夏期セミナーがインターネット上に開催されました。「日本再興〜いま青年神職に求められるもの〜」と題し、第一講では野村證券株式会社塚崎智志先生、第二講では浄土真宗本願寺派築地本願寺代表役員宗務長安永雄玄先生、第三講ではオマツリジャパン共同代表取締役山本陽平先生をお迎えしての夏期セミナーとなりました。開式に当たり神道青年全国協議会小林会長、神道本庁総合研修所浅山雅司部長より御挨拶ののち御講演戴きました。

第一講の塚崎先生より「神社を取り巻く環境変化〜これからの神社機能を考える〜」として本年に行われた調査の結果から神社が社会に求められていることを具体的にお示し頂きました。人口減少が不可避となった現在において地域コミュニティの中で人の集まれる場の共有、神社でしか感じ取れない特別な空気感を感じてもらいたいこと。若年層が触れる機会の多いインターネットを用い発信するにあたり何を目的とし、対象にあった内容を的確に伝えることが重要であると述べられました。

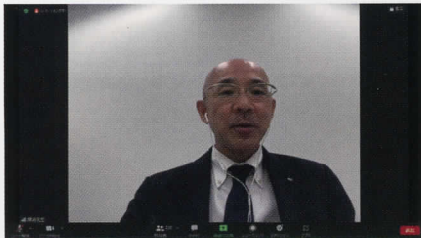
続いて第二講の安永先生から「築地本願寺の経



第2講講師の安永雄彦様



第3講講師の山本陽平様



第1講講師の塚崎智志様



営改革」について、大手銀行・コンサルタント会社・企業新規設立ののち築地本願寺代表役員宗務長へ就任された経験を基に改革の経緯や軸とした考え方をご講演戴きました。核家族や単身世帯が増える中、伝統的なイエとの関係だけではなく個々人との関係を創造していかなければ社寺を守れなくなる。そして個々人との関係を新たに創造するには門徒・崇敬者の目線で何を期待されるか、それを満たす必要があり、社寺でお迎えする立場ならば絶えず自己研鑽に励み人格、知識を身に着けるとともに経営に携わるという意識を持つことが求められると御教授戴きました。

最後に第三講として山本陽平先生より「コロナ禍における祭り」とコミュニティの在り方として新たな生活様式の中で新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに準拠し、如何にして神輿渡御等の祭りを実現し伝統を守るかについて。また、コロナ禍をきっかけに見直すべき事項を「地域における祭りの本質の再発見」「新たな取り組みに目を向けるきっかけ」「有事に弱い対応力の改善」とし、今だから変えることができる時期であるとお示し戴きました。

此の度の研修はウェブ会議システムであるZOOMを用いての研修会であり、全国の会員がインターネットを通じ各界の先生方から貴重な学びを得る機会でした。現在は多くの人が集うことができない状況ではありますが同年代の青年神職と今後の課題を深く考えることができる夏期セミナーとなりました。

# 神道青年全国協議会

## 「デザイン思考と情報発信を学ぶ」ウェブ研修会

去る令和三年十月二日・四日、十一月九日・十一日に神道青年全国協議会「デザイン思考と情報発信を学ぶ」ウェブ研修会が開催されました。主催を神青協、主管として神青協事業委員会が企画運営を行い、十月に開催した研修会を「研修一」、十一月を「研修二」とし、それぞれを二日間に分け計四日間という異例の形式となりました。また、ウェブ上で研修会ではありましたが、研修一・二ともに修了証の発行が可能な研修会を実施することが出来、且つ開始時間を全日十八時三十分からとし、奉務後或いは兼業神職の方々が参加しやすいよう進めてまいりました。

研修一の講師は、(株)あそびとデザイン代表の吉田ちかげ先生をお招きして、「魅力をもつけるアイデアジャーニーと情報発信の新しい形」と題し御講演を賜りました。アイデアの柔軟な発案の仕方や、SNSを中心とした情報を発信する媒体の特性、撮影方法、先生が考える神社での新しいコンテンツ例等を紹介していただきました。

研修二は、(株)エイトブランド



研修一講師の吉田ちかげ先生

ングデザイン代表の西澤明洋先生をお招きして、「超実践！神社のブランディングのはじめかた」と題し御講演を賜りました。本義を後にに神社を守り伝えることを前提とし、ブランディングデザイン



研修二講師の西澤明洋先生

についての説明や、実際にブランディング実績として福岡市鎮座の警固神社を例にわかりやすく丁寧にご説明いただきました。また、全国の青年神職の代表者が登壇し、それぞれが取り組んでいる事業について直接先生とパネルディスカッションやお悩み相談の時間を設け、事業内容の共有も出来た有意義な時間となりました。

ウェブサービスの進化とスマートフォンの普及によって人が接する情報量は十年間で五百三十倍となり、発信しても埋もれる情報化社会において、神社や神職として情報発信を考える上で、非常に参考になる研修となりました。

神青協事業委員会 美幌神社 井上真輔

### 北海道内単体会紹介

札幌支部青年神職文月会 四十九人

会長 横井 康大

渡島神道青年会 十五人

会長 濱村 貴公

檜山神道青年会 四人

会長 伊藤 大輝

後志青年神職会 九人

会長 玉置 彰彦

空知支部青年神職会 八人

会長 山根 大司

上川神道青年会 十四人

会長 池田 宏幸

留萌青年神職会 二人

会長 瀧川 慎吾

宗谷青年神職会 三人

会長 山本 紘輝

網走神道青年会 三人

会長 瀧川 寛毅

紋別神道青年会 三人

会長 中島 徹

胆振青年神職会 十一人

会長 月館 良治

日高青年神職会 六人

会長 酒井 俊

十勝支部青年神職会 八人

会長 加藤 祐亮

釧路管内神社青年会 六人

会長 関 祥一

根室神道青年会 三人

会長 相澤裕佳子

### 編集後記

通信第八十一号の発行に際し、社務多忙の折、御寄稿戴きました皆様にご心より御礼申し上げます。

今期はコロナ禍に於いて事業を中止するのではなく、感染症対策を講じ従来通り現地集参での道神青協研修会を開催することが出来ました。皆様の御理解と御協力に感謝申し上げます。

今後も会員一同研鑽を積み、種々の事業に取り組んで参りますので先輩諸氏、御関係の皆様には御支援、御協力を賜ります様お願い申し上げます。

(井上)

北海道神道青年会事務局

北海道神宮社務所内

電話 〇一一一六一一〇二六一

ファックス 〇一一一六一一〇二六四

メール nshf@yama3219@icloud.com

道神青協事業品

「神社おもてなし心得」



神前奉仕に必要な心構え、態度、身だしなみ、言葉遣い、授与品の取り扱い、神社豆知識などをまとめた一冊！

【事業品問い合わせ先】  
道神青協事業品事務局 TEL:011-382-2201